

次いで全組合員の宣誓 宣言 発表あつて午後四時閉会
第一回対策委員会

四月二十八日午後五時 吉田支那某所に於て第一回対策委員会が開かれ、
対策委員会は第一に争議の根本方針を此の如く決定した。

- 一、立禁は今後も承るだらうが、これを防止せむに、いくりでもやりせる。
- 二、すてに三十町歩近く来つてゐる。これをすてに一つの大きな社会問題
だ。社会戦に移る。
- 三、目標は立禁を大衆的圧力に依つて地主に解除させるにある。

次に執行部が互送された

(宣) 傳) 玉置谷五郎氏

(情) 報) 福居 喜市氏

(委) 坂) 福居愛太郎氏

(調) 査) 刀津真次郎氏

(青) 年) 福居愛太郎氏

(婦) 人) 松下カツ子氏

(少) 年) 溝口 小糸氏

(動) 員) 溝口國太郎氏

更に四月二十八日から五月三日までの争議方針を各支部に徹底統一させ、
争議団を確立するたため家族総会を持つ事
四月二十九日夜、青年部総会
四月二十九日午後、婦人部代表告会談 を決定

(対策委員会 指導部会談は爾後殆んど隔日に開催されたがこれを省略す)

(4) Xデー 五月一日 動員二百五十
(4) 田辺裁判所への抗議デモ

最高指導部会談の決定に基く田辺裁判所への抗議の示威運動の動員指令が
五月五日午後七時半発せられた。示威運動の入り口は

一、現在執行されてゐる立禁を即時解除せよ！

二、立禁仮処分申請に對しては必ず口頭争論を附け！

の二つであつた。示威運動の概況については次の大阪朝日新聞の記事を参
照されたい。

大阪朝日新聞和歌山版(五月七日)

田邊區裁判所に

小作代表押寄す

百五十名が大挙して陳情に

日高の争議深刻化す

暴力行為事件で八名の收容者を出した日高平野の小作争議はさらに深刻化